

授業科目	心理学				単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO10202J	
開講年次	2・3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3			
担当教員	松田 憲							
授業概要	心理学とは「心」の働きを科学的に研究する学問である。心理学と一口に言っても様々な分野が存在する。本講義では、外界の情報を感覚器で受容するところから話を始め、注意、記憶、情動、さらには言語や思考といった高次の心の働きまでを順を追って解説する。また、心の働きを生み出す実体である脳、ヒト以外の動物の心の働き、加齢にともなう心の働きの変化、社会的環境や文化が心の働きに及ぼす影響などについても解説する。授業中に様々な現象をデモンストレーションし、日常生活との関わりを紹介する。本講義を通して、心理学を身近なものとして感じ、日常の経験について科学的な視点から考えられるようになることを期待する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学の基礎的な研究内容を説明できる。</li> <li>2. 心の働きを支える脳の機能について説明できる。</li> <li>3. 日常生活で経験する様々な現象を心理学と関連づけて論じることができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			50		30	20	100	
知識・理解 (DP1-2)			50		30	20	100	
知識・理解 (DP1-3)			50		30	20	100	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
心理学の基本的な知識をよく理解し、それを他の人に正確に伝えることができる。また、心理学の知識を応用して、現実場面のさまざまな問題について科学的に考察することができる。				心理学の基本的な知識を身に付け、それを他の人に説明することができる。また、心理学の知識を現実場面のさまざまな問題と関連づけることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:心理学とは 心理学とはどのような学問領域なのか、および心理学			講義 コメントカード		なし		

	の歴史について概説する。			
2	テーマ: 感覚・知覚1 ものを見る仕組み(視覚)、ものを聴く仕組み(聴覚)を中心に、感覚・知覚について解説する。	講義 コメントカード	なし	
3	テーマ: 感覚・知覚2 視覚、聴覚、および視聴覚相互作用に関する様々な現象についてデモを交えながら解説する。	講義 コメントカード	復習: 感覚・知覚について復習し、理解を深める。	30
4	テーマ: 注意と意識 視覚と聴覚における注意、意識にのぼらなかった情報の処理について解説する。	講義 コメントカード	復習: 注意と意識について復習し、理解を深める。	15
5	テーマ: 記憶1 記憶の過程、記憶の区分について概説し、短期記憶と長期記憶の特徴について解説する。	講義 コメントカード	なし	
6	テーマ: 記憶2 エピソード記憶、目撃証言、潜在記憶などについて解説する。	講義 コメントカード	復習: 記憶について復習し、理解を深める。	30
7	テーマ: 錯視現象の体験 奥行き錯視に関するペーパークラフトを作成し、錯視現象を実体験する。	講義・実習 コメントカード	なし	
8	テーマ: 情動 情動の生理学的基盤、知覚や記憶に対する情動の影響について解説する。	講義 コメントカード	なし	
9	テーマ: 脳と心 様々な脳損傷の症例などを挙げながら、脳と心の関係について解説する。	講義 コメントカード	なし	
10	テーマ: 言語と思考 言語の産出と理解、および推論・問題解決・意思決定などについて解説する。	講義 コメントカード	復習: 情動、脳と心、言語と思考について復習し、理解を深める。	45
11	テーマ: 学習 馴化、刷り込み、条件づけなど学習の基礎的知識について解説する。	講義 コメントカード	なし	
12	テーマ: 動物 ヒトとヒト以外の動物における認知機能の類似性や相違点について解説する。	講義 コメントカード	なし	
13	テーマ: 発達 乳幼児期における認知機能と社会的能力の発達について解説する。	講義 コメントカード	復習: 学習、動物、発達について復習し、理解を深める。	45
14	テーマ: 社会 社会的な状況、他者の存在などが行動に及ぼす影響について解説する。	講義 コメントカード	なし	
15	テーマ: 文化 文化による知覚・認知様式の違いについて解説する。	講義 コメントカード	復習: 社会、文化について復習し、理解を深める。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本学においては、この領域では数少ない科目です。特に予備知識等は必要ありませんが、非常に幅広い分野に応用できる内容ですので、積極的に取り組む姿勢を求めます。			
テキスト	指定なし。毎回プリントを配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	無藤 隆ほか(著)『心理学』(有斐閣) 鹿取廣人ほか(編)『心理学[第4版]』(東京大学出版会) 箱田裕司ほか(著)『認知心理学』(有斐閣) 道又 爾ほか(著)『認知心理学－知のアーキテクチャを探る[新版]』(有斐閣)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	図書館等で参考になる書籍を探してみてください。最近ではテレビや雑誌等で心理学が扱われる機会が増えていきますので、注意して見るのもよいでしょう。授業では、実際に様々な現象をデモンストレーションし、体験してもらいますので、心理学を身近なものとして感じて興味を持ってほしいと思います。また、私語・携帯電話の使用など、他の受講生の迷惑となるような行為は固く禁じます。			
達成度評価に関するコメント	レポートの内容等については、授業の中で指示します。			